

山行報告

◆ 諭鶴羽山山行（交流山行）

●日 時：1月28日（日）

●リーダー：砂川

●参加者：24名

諭鶴羽山山行の感想 田中

私にとっては初めての遠出の山行である。8時総合運動公園を出発。10時過ぎサイクリングターミナルに到着。ストレッチをしてから諭鶴羽ダム横の諭鶴羽古道（裏参道）に入る。いきなり急な登り坂が続く不安がよぎる。しばらく行くと穏やかな登り道に変わりホッとする。両側には雑木林が茂り、朽ちようとする倒木が散乱している。

また、ところどころにある丁石地蔵が古道らしい雰囲気醸し出している。約1時間半で山頂に着く。3.6Kmの道のりであったが標高608mの高さまで登ってきたとは感じられない楽なコースであった。

行動記録

場 所	着	発	記 事
高砂運動公園		8:00	
加古川駅北	8:10	8:25	
淡路インター	9:00	9:20	休憩
西淡三原インター	9:50		
諭鶴羽ダム	10:10	10:25	
登山口	10:30		裏参道
神倉神社	10:42		小休止
諭鶴羽山頂上	11:39		
平和記念塔	11:55	12:10	セレモニー
諭鶴羽神社	12:19	13:07	昼食
表参道登山口	13:50	14:05	買物
灘水仙郷	14:19	15:10	
中原水産	16:50	17:00	買物
松帆の郷	17:20	18:00	入浴
加古川駅北	18:50		
高砂運動公園	19:05		解散

今回の山行は淡路勤労者山岳会の呼びかけにより実現したもので、高御位山遊会、明石山の会、神戸中央山の会、はりま山岳会、姫路山の会が参加して総勢約60名の交流山行である。聞くとところによると当日は淡路勤労者山岳会の会員が10年前に氷ノ山で遭難して亡くなられた命日であるとのこと。

山頂にある平和の塔の広場で交流山行セレモニーが始まった。まず淡路勤労者山岳会・前林会長の歓迎挨拶の後、各会の代表者からスピーチがあり、今後の事故のない山行を誓い合い、最後に淡路労山の亡くなられた会員の冥福を祈って黙祷を捧げた。

その後、諭鶴羽神社境内に移動して昼食。休憩の後表参道をいっきに降りる。下りは急な坂道の連続で路面も荒れて滑りやすい箇所もあった。

約1時間で黒岩に到着。そして1Kmほど北にある水仙郷に行く。今まで新聞やテレビで見たことはあったが現地は初めて



セレモニー風景

であった。500万本とも言われる水仙の清楚な香りに癒される。

帰路のバスの中では原田さんの指導による昔懐かしい歌を合唱した後、松帆の湯に寄って帰った。19時総合運動公園到着。

感想としては、今回の山行は雑木林に囲まれたルートで、遠見の利く処がほとんどなかったのが残念だった。新緑の頃の山行も一興かと思った次第である。



集合写真：諭鶴羽山神社前にて

淡路・諭鶴羽山山行に参加して

柿本

昨年より久々の山行に参加させていただきました。「淡路諭鶴羽山」と聞き「この山行はぜったいに行こう」と思いました。おまけ付（水仙郷・温泉）だったからです。日がせまってくると何か子供が旅行を楽しんでいるような気分です。いつもこんな気分に参加させてもらって申し訳ありません。

今回は私達高御位山遊会、神戸中央山の会、明石山の会、はりま山岳会、姫路山の会と淡路勤労者山岳会との交流山行です。なんと全員で60名参加です。天候にも恵まれ高砂総合運動公園を8時にバスに乗り込み出発しました。大型バスも満員です。車中では先輩達が今まで行った山、行きたい山、色々と山の話に花が咲いています。話を聞いているだけでレベルが違うことがわかります。舞子バス停留所で休憩をとり9時20分いよいよ明石大橋を渡り淡路へ出発です。大橋は何回通っても長くて大きくて気持ちがいいです。そして南淡路サイクルセンターに到着です。淡路はあたたかくて気持ちがいいだろうと思っていたのに大違い。

肌に当たる風が結構寒くて上着・手袋をつけずにいられません。舩賀さん指導の下、ストレッチ準備体操をして諭鶴羽登山口を10時に出発しました。登山口入口よりいきなり急な石段が続きます。しばらくすると息が苦しくなり汗が一気に出てきます。こんなのが続くのだろうか、どんな感じの山だろう。みんなと一緒に最後まで歩けるだろうかと不安になってきました。友達が「大丈夫？」と声をかけてくれます。でも、しばらく登っていくと緩やかな勾配になりのんびりと歩けるようなところが続きました。やれやれ一安心です。所々でお地蔵様が迎えてくれます。

何か「ほっ」とした気持ちになり手を合わせました。そのお地蔵様には何丁と書かれています。後でわかったことですが、裏参道には30丁石、表参道には18丁石あり約109Mごとに

立っているのだそうです。何とありがたい山なのでしょう。そしてみごとな“つる”の宝庫です。

木にからまって長く元気に伸びています。籠でも編みたくなるくらいです。周りをゆっくり楽しみながら雑木林の歩きやすい道を進みました。

山頂に 11 時 45 分到着しました。約 1 時間 40 分かかっています。気持ちいい風が肌に当たります。広場の真ん中は「山頂御旅所」といわれる大きな石が積んである場所がありました。

そこは例祭の際、氏子の手によってみこしが担ぎ上げられ置かれる場所だそうです。これもまた大変な行事だと感心です。そこから少し足を進めていくと平和記念塔が建っている広場があり、そこには一等三角点もありました。



グループの交流集会を行うことになり各代表の紹介で交流を高めました。その頃には昼食の時間も過ぎ少し降りた諭鶴羽神社で昼食をとることにしました。もう 1 時を過ぎていました。神社の横にはゆずり葉の木も植えられて古く立派な神社でした。神社をしばらく散策してこれより表参道を降り黒岩水仙郷をめざします。淡路は雨が少なかったためか古道の地面の土はカラカラにかわいていて、落ち葉もさらさらでその上、ごつごつした石がいっぱいでとても歩きにくく、何回か滑りそうになりました。所々「やぶつばき」の花が清楚に咲いていて目を楽しませてくれます。古い石垣を積んだところがいくつかあり、昔民家があったようで寂しく感じられました。しばらくして目の前に海が広く開けて見えてきました。何か一安心した気持ちです。そのあたりより少し水仙が咲いています。そうしているうちに黒岩集落まで来ました。そこより県道を右手にキラキラ光る海を見ながら水仙郷のある方へ歩き出しました。時計を見るともう 2 時です。近づくにつれ車・人でごったがえしています。山の斜面一面に咲く水仙はなんと



見ごたえがあるものでしょう。山が淡白く、香りが一面に広がっています。この寒い冬に立派に咲くのでよけいに人の目をひきつけるような気がします。一足早い春の香りを体全体で吸ってリフレッシュしました。おまけに、海の幸乾物店・温泉（松帆の湯）入浴をさせていただき楽しい 1 日を過ごすことができました。ありがとうございました。

◆相生市 天下台山行

- 日 時：2月4日（日）
- リーダー：砂川
- 参加者：15名

天下台山行

田中

先週の論鶴羽山に続いての山行である。2～3日前から風邪気味でいまいちの体調であったが、そんなに寒くないという予報を信じて参加した。

9:00 JR 姫路駅に集合し相生駅まで行く。ここからは「はりま山岳会」の室井さん（相生市在住）の案内である。相生駅の東南の方向にある岩屋谷公園（登山口）に到着。小休止、ストレッチのあと山頂まで休憩をせずにいっきに登る。約1時間。登山道は階段が整備され登り易い。頂上は360度見晴らしよく瀬戸内海から周囲の山々がよく見える。室井さんから山の名前を教えてもらうが、初心者の私には知らない山ばかりであった。

昼食、休憩のあと西コースをいく。少し下がった所にある東屋を経由し、ここから下の道路までは獣道のようなコース（室井さんの話では慣れた人しか通らないとのこと）であった。道路脇にある水子地藏にお参りし、遠見山の山頂まで行く。ここは小高い山で相生湾がよく見える。小休止の後龍山公園を通り一般道を戻る。私は風邪気味のため、白龍城の温泉に入る一行と関電前で別れて帰った。

天下台:行動記録

場 所	着	発	記 事
JR相生駅	9:30	9:40	
岩屋谷公園	10:10	10:25	ストレッチ
天下台山頂上	11:20	12:00	昼食
水子地藏	12:50		
遠見山登山口	13:05		木の階段
遠見山頂上	13:25	13:40	
龍山公園	14:00	14:05	
白龍城	14:35	16:00	入浴
バス		16:23	
JR相生駅	16:30	16:51	



天下台山頂にて

今回は、ときおり吹く風が冷たかった以外は暖かく、春が近いと思わせる天気であった。コースは、獣道以外は幅も広くよく整備された（地元のボランティアが1人で下草を刈っているそうである）歩き易いコースで市民のハイキングコースという感じであった。